

「助け合い見守りで 安心して住み続けられるまち つべつ」 を目指して



今日、津別町においては少子高齢化に加え一人暮らしや夫婦の高齢者みの世帯が全世帯の47%に達していることなど地域全体で見守り体制を作り上げていくことが求められています。

こうした中、平成27年度からスタートした「第4期地域福祉実践計画」をもとに、既存事業である「給食サービス」、「ふれあい郵便」、「命のバトン配布事業」、「一人暮らしお年寄りの集い」などの事業。これらに加え、地域の高齢者が身近に集まれる居場所づくりや多世代交流を目的とした「ふれあい・いきいきサロン」の開設など、その拡がりが出てきています。

また、平成26年10月から津別町から受託している「あんしん生活サポートセンターほっと」の運営では、市民後見人の養成や成年後見制度の利用相談支援、引きこもりや生活困窮など地域の困りごとの相談窓口の役割を担ってきています。

そして、平成28年1月からスタートしている「介護予防いきいきポイント事業」は、住民同士の助け合いやボランティア自身の介護予防・社会貢献に結び付けていこうという事業です。今後も人口の1割のボランティア登録者を目指し、研修の実施など事業の推進を図っていききたいと思います。

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な社会福祉団体です。地域の方々やボランティア関係者、町を始めとする関係機関の皆さんと共に、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域社会を推進していきます。

社協の役職員一丸となって、「助け合い見守りで 安心して住み続けられるまち つべつ」を目指し、地域福祉の向上に努めていきますので、引き続きご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

平成28年4月

社会福祉法人津別町社会福祉協議会
会 長 原 田 英 機